

- ① 大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラム長期プロジェクトコース
プロジェクト報告書
- ② 一般社団法人 Impact Hub Kyoto
- ③ 中村優斗 上田薪菜
- ④ 2023年11月26日
- ⑤ 私たちの記録

本インターンシップに参加する上で、わたしたちは3つのことを行いました。

まず1つ目は、「花背を学ぶこと」です。

花背へ巡り、フェスティバルに参加したり、特産品や長年受け継がれて継承している伝統について実際に触れて学びました。

そして2つ目は、「花背の人と関わること」です。花背の小・中学生グループである「Team Tell Hanase」や、農家や狩猟に関わる方々、花背に住んでいる様々な方々と交流しました。

最後に3つ目は、「イベントを通じて花背に貢献すること」です。花背の特産品の一つである蜂蜜を採取するイベントを行いました。これにより、花背の方々と花背外の方々との新たな交流を創出することや、花背の伝統や文化をより多くの人に知ってもらうことを目標に掲げて行いました。

ここからは、私たちが花背で実際に行ったことについて具体的に説明していきます。

①花背フェスティバル

年に1回ある、花背のビッグイベントである「花背フェスティバル」に参加しました。このフェスティバルでは、花背に暮らしている方々はもちろん、花背外からも多くの多くの方々が遊びに来ました。また、花背で農家や狩猟などに携わっている方々が出すお店も多くありました。お店では、花背の特産品の一つであるしば漬けや、鹿肉バーガーといったここでしか食べる機会のないものが多くありました。実際に私たちも試食をしてみると、初めて食べる美味しさに感動しました。出店以外にも、手作りサウナや、魚つかみ、遊具といった小さな子どもでも楽しめる工夫が多くされていました。今回の花背フェスティバルに参加することにより、私たちがイベントをする際は、小さな子どもでも飽きずに楽しめるような何か工夫が必要であると学びました。

②みょうがの収穫体験

京野菜である「花街みょうが」の収穫をお手伝いしました。プロの方から、みょうがの掘り方を教わり、実践してみました。みょうがを収穫することは初めてであり、土の中からみょうがを発掘していく作業は、宝探しのような楽しさがありました。また、みょうがの仕分け方も教わり、お手伝いしました。具体的には、商品にできるように、根本の不要な部分を切り取り、大きさによってはみょうがとして出荷するものと漬物にするものに仕分けしました。最後に、実際の花街みょうがを使ったサラダを頂きました。今回のみょうがの収穫体験を経て、花背が京都の農業において重要な役割を果たしていることが分かりました。

③チマキザサ刈り取り・仕分け体験

チマキザサの刈り取り方法を専門家から教わり、実際に保全地区で刈り取りを行いました。笹の葉の大きさだけでなく、傷の位置や歯の固さなどでも仕分けをすることを知り、チマキザサの奥深さを知りました。そして、それらを一目で見分けて使える葉だけを刈り取る専門家の熟練の技にも感動しました。その後、私たちが刈り取った葉の選別作業を行いました。チマキザサは、一度絶滅に瀕し市場にも出なくなりました。しかし、再生したチマキザサは現在予約が殺到するほど買い手が多くいます。チマキザサの価値の高さと伝統を繋いでいく大切さを学びました。

④ニホンミツバチ蜂蜜ワークショップ

このワークショップでは、私たちも参加しつつ、目標を立てて行動しました。まず、花背には3つの課題があります。1つ目は、花背と花背外の交流の少なさです。2つ目は、関係人口の少なさです。3つ目は、子供同士・集落間など花背内の繋がりでの少なさです。これらを解決するために、それぞれに対応する3つの目標を立てました。1つ目は、花背の各集落同士の繋がりを創り、深めることです。2つ目は、子ども同士の交流を深めることです。3つ目は、花背を知らない方々に、花背に関心を抱いてもらうことです。これら3つの目標を実現するため、4つの工夫を行いました。1つ目は、食卓を囲むことで、集落間・花背内外問わず交流を創出することです。2つ目は、Team Tell Hanaseの応援団グループに入ってもらえることです。3つ目は、Team Tell Hanaseのリーフレットを配り説明・宣伝することです。4つ目は、Impact Hubの花背での活動を示したパネルを展示することです。そしてワークショップでは、花背で活動している猟師グループの協力のもと、ニホンミツバチの採蜜体験を実施しました。この体験で、ニホンミツバチの生態や、巣箱の仕組みについて知れました。さらに、ミツバチに直接触れるなど、普段は体験できないことを自然の中で楽しみながら味わえました。その後は、私たちが採った蜂蜜を使ったパンケーキを頂きました。年齢も職業も様々な方々で食卓を囲み、にぎやかな交流が生まれました。また、チマキザサの広報を行うTeam Tell Hanaseの宣伝をして、より花背を知ってもらい興味を抱かせるよう働きかけました。さらに、花背フィールドラボのパネルも展示しました。これにより、花背にほとんど訪れたことがなかった参加者に、花背の特産品や伝統について知ってもらえました。

以上、私たちが本インターンシップで行った事柄になります。

私たちはインターンシップを振り返って、「企画をすることの難しさ」を学びました。幅広い年代や背景の人々を巻き込む難しさを実感しました。そのため、物事を幅広く考える力を身につけるきっかけにもなりました。また、「様々な生き方」についても学びました。花背に移住した人や、伝統的な文化を伝え続ける人など今まで出会ったこ

とのない背景を持つ人々と触れ合えたことも非常に大きな学びになりました。